

「防災に生かそう！自然災害伝承碑」 ～50年・100年・200年単位で考える～

災害について、50年・100年・200年単位、改めて市内に残る災害を記録した石碑などを調べました。(文化課、防災対策課の協力による)



- ①小城町永泉寺集落の「お地藏さん」
(延享元年(1744年)／275年前)
地すべり災害の死者の冥福を祈り建立
- ②三日月町緑の「災害復旧記念碑」
(昭和23年(1948年)／71年前)
豪雨災害の復旧を記録
- ③牛津町谷の「合掌観音菩薩立像」
(昭和37年(1962年)／57年前)
地すべり災害の2人の死者の冥福を祈り建立
- ④芦刈町社擲の「廣瀬石男翁頌徳碑」
(昭和35年(1960年)／59年前)に建立
大正3年(105年前)開墾地の高潮被害に私財を投入して復興し、農地改革では率先し保有田五十余町歩を区民に解放した徳をたたえた記念碑である。



▲小城町永泉寺公民館横にある「お地藏さん」



▲三日月町緑の「災害復旧記念碑」



▲牛津町谷の「合掌観音菩薩立像」



▲芦刈町社擲の「廣瀬石男翁頌徳碑」